

平成6年度 和歌山県文化賞

たま い いち ろう
玉 井 一 郎

住 所：和歌山県和歌山市

出 身 地：大阪府阪南市

生 年：大正15年

◎業績及び経歴

昭和22年大阪歯科医学専門学校を卒業後、和歌山県立医科大学に約10年勤められ、昭和30年に歯科医開業、地域医療に携わるかたわら、昭和44年から9年間にわたり和歌山県文化表彰選考委員会委員を務められた。

また、昭和45年からは近代美術館協議会委員及び近代美術館友の会会長として、美術館活動を通して県の美術文化振興に大きな業績を残された。

さらに、テレビ和歌山の設立に参加され、本県の放送文化の普及・振興にも貢献されるとともに、県民文化会館文化事業委員会委員長として、県民の文化意識の高揚を図るため、優れた文化の招へいに尽力し、本県文化の振興発展に寄与されてきた。

昭和59年に和歌山版画ビエンナーレ展を創設、世界63か国から約3,000点もの応募があり、国際的にも評価の高いものとなった。この版画展は、和歌山県の芸術活動を国際的に広めるとともに、本県芸術文化の普及推進に大いに寄与することとなり、同時に、県民が優れた芸術を鑑賞する機会を提供することとなった。

これら長年にわたる功績により、昭和56年に紺綬褒賞、昭和58年に地域文化功労賞を受賞、さらに平成2年に藍綬褒賞、平成3年にも紺綬褒賞を受賞された。和歌山県では昭和58年に文化功労賞をお贈りしている。

平成6年新近代美術館設立の際には、佐伯祐三コレクションをはじめ貴重な所蔵品を多数寄贈していただくなど、本県の芸術文化の振興に与えた

功績は極めて顕著である。

■現在

財団法人県いきいき長寿社会センター理事長
県社会福祉協議会副会長
テレビ和歌山取締役

■主な表彰歴

昭和56年 紺綬褒賞
昭和58年 和歌山県文化功労賞
昭和58年 地域文化功労賞(文部大臣表彰)
平成2年 藍綬褒賞
平成3年 紺綬褒賞